

| 団体名 | | 公益財団法人 武蔵野健康づくり事業団 | | | | | | |
|-------|--|---|--------|--------|-----|--------|------|--------|
| 事業部 | ① 指標名 | 健康づくり講座の実施回数 | | | 目標値 | 110 | 実績値 | 98 |
| | 過去の実績 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 達成率 | 89.1% | 達成状況 | 未達成 |
| | (単位: 回) | 70 | 170 | 101 | | | | |
| | 取組内容 | ※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 健康づくり推進員が核となり、コミュニティ協議会ははじめ、郵便局、民間事業者、集合住宅自治会等地域団体等との共催により、運動・栄養・歯科等の健康づくり講座を実施。「運動・講座による啓発」と「自主化を目指した運動の継続支援」とに目的を明確にしながら31回実施した。 ② ①同様健康づくり推進員が核となって、健康づくり人材バンク講師による市民グループ等に対する健康づくり出前講座を38回、健康づくりはつらつメンバーに対する講座を6回、市内イベント等でのだんだん活カアップ体操講座を18回実施した。 | | | | | | |
| | 一次評価 | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 共催事業を活発に開催できたが、健康づくり出前講座等は前年度の件数を下回り、全体では目標を達成できなかった。今後、共催事業は、更なる拡充に向けて、モデル事業による自主運営化への取り組みを進めていく。出前講座は、新規団体のPRに力を入れていく。なお、共催事業による講座からは、高齢者介護予防の通いの場である「いきいきサロン」立ち上げにつながるものもあった。 | | | | | | |
| 二次評価 | 地域との共催事業によって、「いきいきサロン」の立ち上げにつながったことは評価する。前年度を下回った健康づくり出前講座については、新規団体のPRに力を入れるなど更なる拡充を図っていただきたい。 | | | | | | | |
| 財務部 | ② 指標名 | 健診事業収益 | | | 目標値 | 60,000 | 実績値 | 56,694 |
| | 過去の実績 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 達成率 | 94.5% | 達成状況 | 未達成 |
| | (単位: 千円) | 57,767 | 59,166 | 58,500 | | | | |
| | 取組内容 | ※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 人間ドック受診者増を目指し、市報、ホームページ、広報誌の全戸配布、人間ドック案内チラシの見直し、事業団開設30周年記念事業ほか各種事業でのPR等積極的に取り組んだ。 ② 託児付きの人間ドックを実施し、より受診しやすい環境づくりに努めた。 ③ 健診事業代行事業者との契約を継続して行った。 | | | | | | |
| | 一次評価 | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 人間ドック受診者数は、担当医師交代の際の受診者人数枠の制限も一因となり、前年比14人減少した。一日あたりの受診者数平均では14.07人で、前年の14.66人に比べ若干減少した。健診事業収入は、全体で前年比1,807千円の減となり、目標は達成できなかった。今後も引き続き、収支改善を図るため、人間ドック等自主事業による財源を最大限確保するよう、受診勧奨・周知に努めている。 | | | | | | |
| 二次評価 | 健診事業収入が昨年度から下回っている。人間ドックについては、有効かつ効率的なPRを行い、受診者の増加に努めていただきたい。また、職域検診について、依頼元のニーズに対応し、受診拡大に努めていただきたい。 | | | | | | | |
| 内部管理部 | ③ 指標名 | 研修への参加者の割合 | | | 目標値 | 100% | 実績値 | 100% |
| | 過去の実績 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 達成率 | 100% | 達成状況 | 達成 |
| | (単位: %) | 100 | 95.7 | 100 | | | | |
| | 取組内容 | ※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 嘱託職員を含む各職員が、積極的、自発的に研修参加を希望するよう促し、各種研修・講座に参加した。人間ドックアドバイザーブラッシュアップ研修やピンクリボンアドバイザー認定等、健診施設の機能を高める研修の参加を促した。 ② 上級救命講習は、新規委嘱の健康づくり推進員の受講や更新のための再講習を必要な職員へ受講させた。 ③ 研修以外にも、市の在宅医療・介護連携推進協議会、介護予防事業連絡調整会議、子育てひろばネットワーク会議、ケアリンク武蔵野2017実行委員会等、市の各種会議や関連団体との合同研修、事業団理事長ミーティング等へ積極的に参加した。 ④ 理事長とのミーティング(テーマ「組織目標」)を開催し全員出席した。 | | | | | | |
| | 一次評価 | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 引き続き、事業団職員としての意識・意欲の向上、専門・担当業務のスキル向上に資するよう、業務に関連した研修や専門性を高める研修をはじめ、組織目標を達成していく上で有用な研修に積極的に参加するよう努め、人材を育成する。各職員が研修・講座・委員会等へ参加して得られた情報は、職場全体で共有し、組織力を高めていく。 | | | | | | |
| 二次評価 | 高い意識で研修に参加していることを評価する。個々の意識・意欲・スキル向上は、組織力向上につながるため、引き続き、得られた情報を職場全体で共有しながら、継続していただきたい。 | | | | | | | |